

『本朝無題詩』の無題

佐伯 雅子

『本朝無題詩』の「無題」とは、「句題」に対するもので、摘句を題にする詩ではないことは周知のことである。『本朝無題詩』の「無題」の意味を分類と詩題から考察することが本稿の目的である。本稿の最後に分類と詩題を表にした。以下、この表を参照しながら見ておこうと思う。

全 772 首のうち、題のみで詩のないものも含めた。季節を表したものを太字にした。また、詩の題材としている場所を表したものをイタリック体で示した。場所については、固有名詞とは限らない。また、分類項目の内容を表しているものに傍線を施した。

つまり、これらは、「いつ」「どこで」「何を」ということを示すことばである。これにその項目に対応する動詞や、「即事」「言志」「述懐」「賦」などの術語を加えると、長い題のものを除くと、殆どの詩の題が、「いつ」「どこで」「何を」「した」ということになる。

この分類項目に含まれるものに「暮春」などの季節や時期、「平等院」などの場所だけの詩題の数は 440 首になる。これは、詩全体の 56.99%となる。それに単純な動詞や詩の術語を加えたものは 688 首で、詩全体の 95.29%にのぼる。即ち、『本朝無題詩』の詩題の殆どは機械的に分類項目に 3W を加えたものなので、まさに「無題」の世界なのである。

句題詩が題による厳密な拘束を受け、詩の内容が類型化していったこの時代に、題による拘束を徹底的に排除していったものを集成した詩集なのである。

この傾向は既に勅撰三集にも見られ、『本朝麗藻』にも無題詩は存在する。詩題による詩の内容の拘束は実は律詩そのものにも見られる傾向である。それらが詩の世界を規定し、閉塞する状況の中にあつて、題による束縛から解放されたといえよう。

しかし、詩の内容そのものはこれらの詩題から乖離して作られている訳ではない。題は詩作の状況を述べていることには変わりはない。句題のような字の一つ一つに制限がないだけで、詩内容そのものが題とは別に作られているのではないのである。

題画詩の場合、句題を担う詩が存在する筈であるが、『本朝無題詩』の場合、「画障」などとは記されておらず、題のみを見て、直接絵の内容を想像することは不可能である。題画詩まで、無題にしたのである。

また、寺院参詣に関する詩が多いのも一つの特徴である。当時の寺社参詣が多かったことにも起因するが、寺社参詣が一つの詩作の主軸になっていることも否めない。これらは、院政期において、多くの文化的な素因となっているのである。

題を無化すること、これは句題詩の束縛から解放されて、新しい詩の世界を作る筈であったが、その内実は 3W に規定されたものであったかの感がある。それは、ある意味では詩や文章の規範であるが、逆に 3W 自体が類型化すると、新たな閉塞を産み出す危険性もある。

『本朝無題詩』は、句題詩の規定からの解放を一方ではめざし、題そのものを無化することに成功した。一旦脱却した題からの束縛は、画障詩や遊覧詩の列挙という新たな枠組みを、はからずも作りあげること成功したといえよう。

表:『本朝無題詩』における部立(分類)と詩題

部立No.および部立名	詩No.および詩題
1 行幸	1,2,3,4,5,6 行幸平等院
宴賀付賀勸学院新成	7,8,9,10,11,12,13,14,15 賀大極殿新成
	16 賀勸学院修造新成
尚齒会	17,19,21,22 暮春長秋監巫相山庄尚齒詩
	18,20 暮春見巖閣巫青山庄尚齒会詩
2 天象	23,24 賦月
	25 賦遲出月
	26 賦雪
	27 賦春雪
	28 山家春雪
	29 雪中命飲
	30 賦雨
	31 雲林院西洞遇雨
時節	32,36 賦早涼
	33,34,35 六月祓
	37 賦秋景氣
地儀	38 対林池
	39 賦山水
植物	40 翫花
	41 対庭花
	42 賦紫藤
	43 翫卯花
	44 賦覆盆子
	45 賦艾人
	46 賦薔薇
	47,51,52 賦牡丹花
	48,49,50,53,54 賦瞿麥
	55 翫鹿鳴草
	56,57,58 賦菊花
	59 翫池辺殘菊
	60,62 賦殘菊
	61 賦月前殘菊
	63 対窓前竹
	64,65,66 賦庭前松竹
動物	67 賦鶴
	68 聞大宋商人獻鸚鵡
	69 鳩逢鷹
	70,71,72 賦郭公
	73 翫螢
	74 狗馬詩

部立No.および部立名	詩No.および詩題	
	75 賦鼠	
人倫	76 見五節舞姬	
	77,78,79,80,81,82 傀儡子	
	83 傀儡子孫君	
	84 遊河陽賦漁父	
	85 賦漁賦	
	86 見行人	
	87 見売物女	
	88 見売炭婦	
	89 婦漁歌	
雑物	90,91 賦連句	
	92 彈琵琶	
	93 聽妓女之琵琶有感	
	94 酌羽觴	
	95 探一物得硯	
	96 重賦画障	
	97,98 詠画障詩 六韻	
	99 見画障独吟	
	100 詠画障冬処々	
	画障子詠三首	101 暮林之下。有一神祠。士女報賽。致祭尊礼。或供酒菓。或獻歌舞。鼓笛滿耳。祝言解頤。
		102 山家雪深徑路已絶。無尋來客独以閑居。对深罍而煖醇酒。望前峰而詠古詩。既及歲陰之窮。転有情之功。
		103 探一物得簞
屏風付画障	104 見屏風春所独吟	
	105 有田家主客。会談恣以逍遙。卷蘆簾以対野徑。赴桑園以望山村。当門前而田疇綺錯。邊砌下而流水潺湲。農夫營耕田採苗之事。野老致提榼漉酒之勤。歡宴遇境日漸及昏。	
	106 百花盛開。衆人競至。長橋之下有輕軒。	
	107 関路有旅行之人。遙見畚田之農耕。又青柳夾岸。黄鶯嚙樹。	
	108 人家有來客。休息于新樹之下。枳落花開。紫藤扠池。	

部立No.および部立名	詩No.および詩題
	109 石瀬之辺有釣漁人。濁醪滿樽魚膾堆俎。
	110 河水辺有数株之松陰。輕軒之客駐駕斯処。披衣襟而発詠吟。羞盃酌而酣醉。蓋是避暑也。或曳履而遊岸脚。或叩舷而泛波心。鷁首舟。屢献水鮎。
	111 池上有臺。臺上有人讀書。少徑有松。松下有鶴道士。船中載鶴至。其傍有少橋。又池上白蓮開敷。水辺有紫藤翠柳。又前庭立小床矣。屏風
	112 釣臺秋宴。屏風。
	113,114 見画図翫惠日寺秋氣。
	115 秋夜宿野亭。于時天晴月明。終夜不眠。鴻雁叫天。蟋蟀吟床。
	116 田家秋雨。有恋故郷之人。郊外草衰。籬下菊殘。
	117 山洞之中。落葉滿地。隱倫彈琴。麋鹿相隨。
	118 山家雪中。排戸眺望。青松列山。白鶴立汀。禪客歸寺。樵夫過門。
	119 見画障。
	120 題画障詩。
	121 重賦画障詩。
	122 重題画障。
	123 書懷題紙障。
3 花下	124 花下命飲。
	125,126 花下言志。
	127,128,129 長樂寺花下即事。
	130 雲林院花下言志。
	131 尋山花。
	132 池亭翫花。
	133,134 紅櫻花下作
	133,134,135 紅梅花下命飲。
月前	137 夏夜月前言志。
	138,139,140,141,142,143,144,145,146 八月十五夜翫月。
	147 八月十五夜詩。
	148,149,150 月下即事。
	151 对月独詠。
	152,153 遍照寺翫月。
	154 六波羅蜜寺对月。
	155 城北翫月。
	156,157 九月十三夜翫月。
	158 月下言志。

部立No.および部立名	詩No.および詩題
	159,160,161,162,163 翫月。
	164 月下有感
	165 遊遍照寺。
	166,167 法性寺翫月。
	168 古寺翫月。
	169 山家翫月。
	170 对月独吟。
	171 客館对月。
	172,173,174,175,176,177 秋月詩。勒
	178,179,180,181,182,183,184 月下言志。勒
	185,186 对月言志。勒
	187 山寺对月。
七夕	188 思牛女。
	189 代牛女言志。
	190 思牛女。勒
	191 感牛女。
	192 遇雨聊述鄙懷。
	193,194,195 後朝詩。
4 春	196 春日独居詠
	197 立春夜单居
	198,199,200,201 早春即事
	202,203,204,205 春日即事。勒
	206,207,208,209,210,211 春三首
	212 春日述懷。勒
	213,214 春日言志。離合
	215 春日遊覽。
	216,217,218,219,220,221,222 春夜即事。
	223 春夜述懷。勒
	224 春宵言志。勒
	225 暮春即事。勒
	226,227,228 惜殘春。勒
	229 早春言志。
	230,231,232 暮春言志。勒
	233 暮春偶吟。
	234 三月三日即事。勒
	235 三月尽日即事。
	236,237,238,239 三月尽日惜春。
	240 三月尽日述懷。
	241 閏三月即事。
	242,243,244 閏三月尽日即事。勒

部立No.および部立名	詩No.および詩題
夏	245 初夏雨中即事。勒
	246 首夏即事。勒
	249,250,251,252 夏二首
	253,254,255,256 早夏言志。
	257,258 早夏述懷。勒
	259,260,261,262,263,264,265,266 夏日即事。
	267 夏日作。勒
	268 夏日言志。勒
	269 避暑。勒
	270 閑中納涼。
5 秋	271 早秋即事。
	272,273,274,275,276,277 秋三首。
	278,279,280 秋日即事。勒
	281,282 秋日偶吟。
	283 長安城亭懷旧。
	284 秋日言志。勒
	285 秋日野遊。
	286 秋日野望。勒
	287 九日即事。
	288,289,290,291,292 秋夜即事。
	293,294 秋夜閑談。勒
	295,296,297 秋夜閑詠。勒
	298 秋夜守庚申。勒
	299 秋夜書懷呈左金吾員外次將之閣下。
	300 秋曉。
	301 初秋偶吟。勒
	302,303,304,305,306,307 暮秋即事。勒
	308 書窓言志。
	309 与諸賢才言志。
	310 舟中即事。
	311 九月尽日惜秋。
	312 九月尽日遊白河勝形眺望
冬付歳暮	313,314,315 初冬即事。
	316,317 初冬書懷。勒
	318 初冬舟中述懷。勒
	319 吉祥院僧房述懷。勒
	320 初冬述懷。勒
	321 初冬偶詠
	322,327,328,329,330,331,332 冬日即事。勒
	323,324,325,326 冬二首。

部立No.および部立名	詩No.および詩題
	333,334 冬夜言志。勅
	335 冬夜偶吟。
	336 除夜独吟。
	337 待春詩。
	338,339,340,341 歳暮即事。勅
	342,343 歳暮言志。勅
	344 歳暮述懷。
	345,346,347,348 炉辺言志。
	349 炉辺清談。
	350,351,352 炉辺閑談。勅
雑部	353 閑中独吟。
	354 閑居述懷。
	355 閑中納涼。
	356 病中閑吟。
	357 述懷。
	358 病中作
	359 長齋之間以詩代書呈江才子
	360 伝聞我道英才賀算道善博士九十年算之詩会不堪情感聊成諷吟而已。
	361 聊成閑中之偶詠令慰老後之愁吟而已。
6 水閣	362 涼。勅
	363 命訊吟欲述懷
	364 終日遊九条水閣。
池臺付池亭池頭	365,368 夏日池臺即事。
	366,367 秋日遊池臺。
	369,370 秋日池臺即事。
	371 暮春池頭即事。
泉亭	372 夏日泉亭即事。
	373 泉石辺言志。勅
林亭	374 春日林亭即事。
	375 夏日遊林亭。
	376,377,378,379,380,381,382 秋日林亭即事。
	383 初冬林亭眺望。
亭	384 秋日陶化坊亭即事。
	385,386 西院亭即事。
	387 会飲崇仁坊新亭。勅
	388 西院亭子言志。
	389 秋日東郊亭作。
別業付別庄別野	390 夏日遊陶化坊別業。
	391 遊九条別業。勅

部立No.および部立名	詩No.および詩題	
	392 秋日 <u>糸別業</u> 即事。	
	393 九日遊 <u>城南別業</u> 。	
	394,395,396,397,398,399,400 暮秋 <u>城南別業</u> 即事。	
	401 <u>東山別業</u> 眺望。	
	402,403,404 夏日 <u>桂別業</u> 即事。	
	405,406,407 春日 <u>桂別業</u> 眺望。	
	408 春日遊 <u>宇治別業</u> 。	
	409 秋日 <u>宇治別業</u> 即事。	
	410,411 冬日 <u>宇治別業</u> 即事。	
	412,413 春日 <u>富家別業</u> 即事。	
	414 九日尽日 <u>常磐別業</u> 即事。	
	415,416 夏日遊 <u>河陽別業</u> 。	
	417 暮春遊 <u>栗田別業</u> 三韻。	
	418,419 秋日 <u>別業</u> 即事。	
	420 餘春 <u>洛外別業</u> 即事。	
	421,422,423,424 秋日遊 <u>陶化坊別庄</u> 。	
	425 冬日遊 <u>城南別莊</u> 。	
	426 夏日遊 <u>城北別莊</u> 。	
	427 春日 <u>城北幽庄</u> 言志。	
	428 冬日会 <u>小野山庄</u> 訪土俗。	
	429 <u>別墅秋望</u> 。	
	430,431 暮秋 <u>白川院</u> 即事。	
	432 初冬 <u>白川</u> 即事。	
	433 秋日 <u>淳和院</u> 即事。	
	434,435 <u>淳和院</u> 眺望。	
	近会向 <u>梅津</u> 。昨朝過 <u>宇泉</u> 。歸路寄 <u>山階</u> 。日日遠行。	436 <u>梅津</u> 。
	事々知老。抑山水風流。煙霞氣色。云此云彼。有興	437 <u>宇泉</u> 。
	有情。聊叙所觀。以悟不知矣。	438 <u>山階</u> 。
		439 <u>歸路</u> 。
7 山家	440,441 夏日 <u>山家</u> 即事。	
	442,443 秋日 <u>山居</u> 即事。	
	444,445 冬日 <u>山家</u> 即事。	
	446 <u>山家春興</u> 。	
	447 <u>山家春意</u> 。	
	448,449 <u>山家秋意</u> 。勅	
	450,451 春日 <u>山家</u> 眺望。	
	452,453,454 秋日 <u>山家</u> 眺望。	
	455 暮春 <u>山家</u> 晚望。	
田家	456 <u>田家春望</u> 。	
	457,458 秋日 <u>田家</u> 眺望。	

部立No.および部立名	詩No.および詩題
野店	459 野店秋興。
旧宅	460 冬日向故右京兆東山野旧宅。視聽所催。潜然而賦矣。
	461 過雍州旧宅。
山林	462 山村暮秋。
野外	463 野外春遊。
	464 秋日野望。勒
河辺	465 暮秋遊覽大井河。
	466,467 初冬遊泛西河。
旅館付路次	468 秋日江州館下即事。
	469,470,471 旅亭三首。
	472 羈旅秋夜。
	473 河州府下即事。
	474 遊長州臨海館。
	475 水路春行。
	476 月夜宿口海浜。
	477 熊野路次瀧尻宿即事。
	478 撰州兔原旅宿即事。
	479,480 初出西府宿香椎宮之浜殿。
	481,482 自浜殿移民家矣。
	483,484 於香椎宮賦所見之事。
	485,486 乘舟到新宮湊。
	487,488 着阿惠嶋述志。
	489,490 宿葦屋泊。
	491,492 周防田嶋湊。
	493,494 於室積泊即事。
	495 於渡津述懷。
	496 着葦屋津有感。
	497 過山鹿三崎詠之。
	498 過門司關述四韻。
	499 着長門壇即事。
	500 於長門壇逗留重賦六韻。
	501 周防石室眺望。
	502 着同國江泊頓作之。
	503 遲留江泊戲賦舟中事。
	504 着笠戸泊一吟。
	505 着椒泊愁吟。
	506 着藝州赤崎泊言志。
	507 宿道口津賦所見。
	508 過備前藤戸浦有興。

部立No.および部立名	詩No.および詩題
	509 過甲浦早詠。
	510 虫上狹渡岸上古寺。
	511 於室泊即事。
8 山寺上	512,513,514,515,516,517,518,519 春日遊長樂寺。
	520,570,571 長樂寺眺望。
	521,522,523,524,525,526,527,528,529,530,531,532, 533,534,535,572 遊長樂寺。
	536 長樂寺三月尽。
	537,538,539,540 三月尽日遊長樂寺。
	541,542,543,544,545,546,547,548,549,550,551,552, 553 秋日長樂寺即事。
	554,555,556,557,558,559,560,561,562,563,564,565, 566,567,568,569 冬日遊長樂寺。
9 山寺中	573,574 春日世尊寺即事。
	575,576,577 秋日遊世尊寺。
	578,579,580 初冬遊世尊寺。
	581 雪朝遊世尊寺。
	582,583,584,585 暮春於醍醐寺即事。
	586,587 初冬遊石山寺。
	588,589,590 詣石山寺有感。
	591 夏日禪林寺即事。
	592,593,594,595,596,597 秋日禪林寺即事。
	598,599,600 初冬遍照寺即事。
	601,602 春日於栖霞寺即事。
	603,604 夏日遊栖霞寺。
	605,606,607 春日弘隆寺即事。
	608 春日法輪寺言志。
	609 夏日遊法輪寺。
	610,611,612,613 暮秋法輪寺即事。
	614 暮春遊清水寺。
	615,616,617,618 夏日遊清水寺。
	619,620 暮春六波羅蜜寺言志。
	621,622 秋日六波羅蜜寺言志。
	623,624 秋日遊法住寺上方。
	625 秋日淨土寺仙窟即事。
	626,627 遊北山淨土寺。勒。
	628 秋日青龍寺述懷。
	629 与諸文友遊潁州青龍寺。
	630,631,632,633,634,635 春日遊東光寺。
	636 夏日東光寺即事。

部立No.および部立名	詩No.および詩題
	637 秋日遊 <u>東光寺</u> 。
	638 暮春遊 <u>双輪寺</u> 。
	639,640,641 秋日 <u>双輪寺</u> 即事。
	642 春日遊 <u>天竺寺</u> 。
	643 秋日遊 <u>天竺寺</u> 。
	644 秋日遊 <u>藥王寺</u> 。
	645,646 秋日遊 <u>雲居寺</u> 。
	647 冬日遊 <u>円覺寺</u> 。
	648 春日 <u>円覺寺</u> 即事。
	649 暮秋遊 <u>円覺寺</u> 。
	650,651,652 夏日遊 <u>仙遊寺</u> 。
	653,654,655,656 閏三月尽日 <u>慈恩寺</u> 即事。
	657 暮春遊 <u>靈山寺</u> 。
	658,659 暮春遊 <u>法音寺</u> 。
	660 過 <u>道明寺</u> 有感。
	661 夏日 <u>大覺寺</u> 即事。
	662 遊 <u>普光寺</u> 。寺在 <u>河州府東山</u> 。
	663 遊 <u>円成寺</u> 。
	664 <u>水心寺</u> 詩。
	665 詣 <u>武蔵寺</u> 。
	666 遊 <u>清閑寺</u> 。
10 山寺下	667,668,669,670 暮春遊 <u>円融寺</u> 即事。
	671,672,673 秋日遊 <u>円融院</u> 即事。
	674 九月尽遊 <u>円融院</u> 。
	675,676,677,678,679 冬日遊 <u>円融寺</u> 。
	680,681 夏日 <u>宇治平等院</u> 言志。
	682 春日遊 <u>雲林院西洞</u> 。
	683 <u>雲林院</u> 眺望。
	684 <u>雲林院</u> 即事。勒。
	685,686,687 秋日遊 <u>雲林院</u> 。
	688 <u>雲林院西洞</u> 惜殘秋。
	689,690 冬日 <u>雲林院</u> 即事。
	691 春日遊 <u>雲林院</u> 。
	692,693,694,695,696,697,698 春日遊 <u>勝心弥陀院</u> 。
	699 <u>勝心弥陀院</u> 即事。
	700 冬日遊 <u>大教院</u> 。
	701,702,703 春日遊 <u>寺</u> 。
	704,705 夏日遊 <u>寺</u> 。
	706 <u>山寺</u> 早春。
	707,708,709,710,711 遊 <u>山寺</u> 。

部立No.および部立名	詩No.および詩題
	712 夏日於 <u>撰州山寺</u> 即事。
	713 秋日出 <u>山寺</u> 。
	714 遊 <u>山寺</u> 。
	715,716,717,718,719,720,721,722,723,724,725, 726,734,736 <u>山寺</u> 即事。
	727,728,729,730,731 遊 <u>山寺</u> 談僧。
	732 冬日 <u>山寺</u> 即事。
	733,735 遊 <u>關西山寺</u> 。
	737,738 夏日遊 <u>古寺</u> 。
	739,740,741,742 秋日遊 <u>古寺</u> 。
	743 <u>古寺</u> 言志。
	744 <u>古寺</u> 即事。
	745 <u>古寺</u> 眺望。
	746,747,748 暮春遊 <u>城北精舍</u> 。
	749,759,751,752 <u>城北精舍</u> 言志。
	753,754 九月尽日 <u>城北精舍</u> 即事。
	755 暮秋 <u>崇仁坊仏閣</u> 言志。
	756 <u>東山道場</u> 即事。
禪房	757 歲暮 <u>東山禪房</u> 即事。
	758 初秋過 <u>智律師洞房</u> 述懷。
	759,760 夏日 <u>禪房</u> 言志。勒。
山洞	761 暮春遊 <u>西山古洞</u> 。
	762 <u>東山</u> 即事。勒。
	763 晚秋 <u>高野山</u> 言志。
	764 春日遊 <u>天台山</u> 。
	765 <u>温泉道場</u> 言志。
	766 <u>安樂寺聖廟</u> 望勝形。
	767,768 冬日參詣 <u>安樂寺聖廟</u> 。
	769 參 <u>安樂寺聖廟</u> 述志。
	770,771,772 九月尽日陪 <u>天滿天神祠</u> 。 <u>撰州</u> 。